

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
330612136	学泉アカデミーC(ダンス) Potential Studies C (Dance)	石川美樹		専門	1	選択	1年後期
科目の概要							
ダンスは身体的運動の組織的構成により、個及び群の主張を表現する特異な身体活動である。舞踊的身体(ダンスを踊る身体)の基礎的な育成を目指して身体表現能力の向上を図り、グループ作品の構成を通して創作能力を培う。また学校教育現場でのダンス授業を想定し、指導法の基礎を学習する。							
学修内容				到達目標			
基礎的なダンス技術。 創作する為の基礎的な知識。 他者を認め合う姿勢。				リズムに合わせて身体を動かし、既定の振付を習得する事ができる。 創作する為に必要な知識を理解し、年代に合わせた振付を創作する事ができる。 コミュニケーション能力を向上させ、他者を認め合う姿勢を身につける事ができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	積極性を持ち、何事にも前向きに取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力						
考え抜く力	課題発見力	常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え行動する。					
	計画力						
	創造力						
チームで働く力	発信力						
	傾聴力						
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	時間や期日を守り、マナーとモラルのある行動をする。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
なし。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目：保健内容(表現A)、こどもの健康、体育科研究、体育科教育法、児童体育 資格：保育士、幼稚園教諭、小学校教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
ダンスの技術習得だけでなく、指導方法や創作方法など、あらゆる事を学ぶ姿勢がある事が望ましい。				<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕を持って行動すること。 ・提出物の期日を守ること。 ・実技にふさわしい動きやすい服装をすること。 ・アクセサリ類は外すこと。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①		ダンスに関する基礎的な知識が理解できているかを、小テストにて判断し評価する。	
				②	✓		
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	20		①		毎回の授業で学び得たことや成果、指導のポイントなどをレポートにまとめ、その内容により評価する。
					②	✓	
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50		①	✓	グループごとに創作した作品の出来栄により評価する。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①		授業態度により評価する。		
			②				
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
ダンスの基礎的な技術を十分習得できる。また、円滑な問題解決に向けて、発想力を持ち、仲間とコミュニケーションをとることができる。	ダンスの基礎的な技術を十分習得できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション ・ウォーミングアップ	幼児体育室	・自身が思い描くように身体を動かすことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
2週 /	・ウォーミングアップ ・ステップ練習 ・フォークダンス	幼児体育室	・既定の振付を覚えることができる。 ・フォークダンスの由来を学ぶことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
3週 /	・ウォーミングアップ ・ステップ練習 ・フォークダンス	幼児体育室	・既定の振付を覚えることができる。 ・フォークダンスの由来を学ぶことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
4週 /	・ウォーミングアップ ・リズムの取り方 ・課題曲振付	幼児体育室	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
5週 /	・ウォーミングアップ ・リズムの取り方 ・課題曲振付	幼児体育室	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
6週 /	・ウォーミングアップ ・リズムの取り方 ・課題曲振付	幼児体育室	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性
7週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(ミニ創作)	幼児体育室	・グループで協力し合い、作品を作り上げることができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
8週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(ミニ創作)	幼児体育室	・グループで協力し合い、作品を作り上げることができる。	授業内容を振り返り、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(振付づくり)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自らの考えを述べる事ができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
10週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(振付づくり)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自らの考えを述べる事ができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
11週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(振付づくり)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自らの考えを述べる事ができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
12週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(振付づくり)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自らの考えを述べる事ができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
13週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(振付づくり)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自らの考えを述べる事ができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
14週 /	・ウォーミングアップ ・グループ活動(指導体験)	幼児体育室	・グループ活動が円滑に進むよう、自身の役割を果たすことができる。	活動の進捗状況をふまえ、成果と課題を見出し、レポートにまとめる。		規律性、主体性、課題発見力
15週 /	まとめ	幼児体育室 又は教室	・授業全体を振り返り、自らの学びについて良かった点や改善点を挙げる事ができる。	授業全体を振り返り、自らの学びについて良かった点や改善点をまとめる。		規律性、主体性、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力